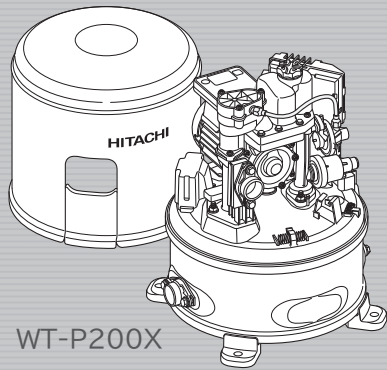


取扱説明書

保証書別添付

日立浅井戸用ポンプ 型式

ダブルユーティリー ピー エックス
〔单相〕 WT-P125X
WT-P200X
WT-P300X
WT-P400X
ダブルユーティリー ケー エックス
〔3相〕 WT-K200X
WT-K750X

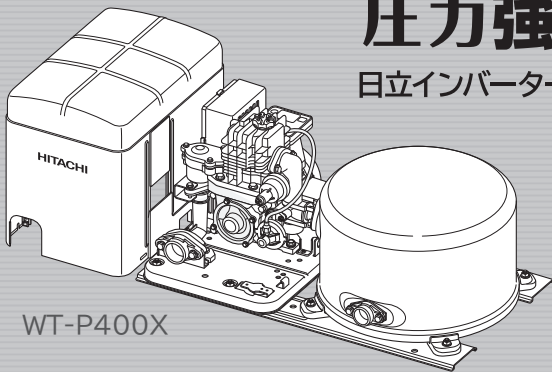


WT-P200X

浅井戸用

つよし
圧力強くん

日立インバーターポンプ



WT-P400X

このたびは日立ポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.2~4)をお読みいただき、正しくご使用ください。

- 据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- ご購入のポンプの型式確認は、ポンプ本体の表示をご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部のなまえ	6
操作コントローラーのはたらき	8
操作コントローラーの表示について	8

据え付け工事について [販売店様・工事店様用]

据え付け前の確認	9
吸上高さの確認	9
押上高さの確認	10
電源の確認	10
据え付け場所の確認	10
ほかの機器との組合せについて	10
井戸の砂について	11
据え付け前のご注意	11
配管工事について	12
新規に接続の場合	12
既設の日立ポンプを取り替える場合	13
配管の施行の基礎	14
配線工事について	15
アース線の接続と漏電遮断器について	15
電源電線について	15
試運転	16
試運転のしかた	16
運転状態の確認	16
運転のしかた	17
運転モードについて	17
運転モードの切り替えかた	18
運転圧力の切り替えかた	18
角形受水槽との組み合わせについて	19
角形受水槽との接続について	19
断水リレーの接続について	19
運転圧力の切り替えについて	19
満水警報器の接続について	19
除菌器の接続について	20
結線について	20
カルキ量の調整について	20
防寒について	20
凍結防止策	20

こんなときは

お困りのとき	21
操作コントローラーにこんな表示が出たら	21
漏水を確認するときは(漏水チェック機能)	23
圧力タンク内の水を抜くときは	23
消耗部品について	23
保証とアフターサービス	24

仕様

仕様	26
製品寸法	26

安全上のご注意

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■ここに示した注記事項は





表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

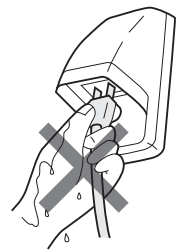
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 実行していただく「指示」内容のものです。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

電源プラグや電源電線は

-  ●電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。
-  ●電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふく
火災の原因になります。
-  ●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る
感電やけがの原因になります。
-  ●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。
- 傷んだ電源電線や電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで差し込む
感電やショートして発火することがあります。
- 電源電線を傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込む・たばねるなどしない〕
電源電線が破損し、発煙・発火の原因になります。
- テーブルタップによるタコ足配線はしない
発煙・発火の原因になります。
- 延長コードは使用しない
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。
- 子どもだけで使わせない
- 電源プラグ、電源コードを水につけたり、水をかけたりしない
- 電源プラグを水につけた場合は使用しない
漏電や感電、故障の原因になります。



警告

配線・アース線は



配線工事は電気設備技術基準や、内線規程に従って、安全に行う

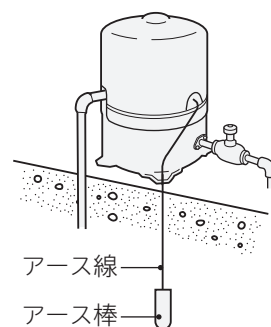
誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



アース線を取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。

アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。



そのほか



ポンプを水道管に直接配管しない

ポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。



動かなくなったり、煙が出ている、変なおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切って、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する

感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。



分解したり、修理・改造しない

火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)



●ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプ内部に物を入れない

過熱による発煙・発火の原因になります。

●ポンプカバーを外したまま使用しない

雨やほこりにより絶縁劣化して、感電や火災の恐れがあります。

※ポンプカバーを取り付ける際は、電源電線およびアース線を

挟み込んで傷つけないように注意してください。

●製品が包装されているビニール袋をかぶらない

窒息の恐れがあります。

本体の近くには



●引火物の近くには設置しない〔ガスボンベ・灯油・ガソリントankなど〕

爆発や火災の恐れがあります。

●可燃物の上には設置しない〔木材・段ボールなど〕

火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近付けない

火災の恐れがあります。

●ポンプ本体には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない

誤動作することがあります。

安全上のご注意 (続き)

⚠ 注意

運転前後、運転中は

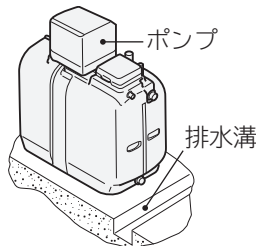
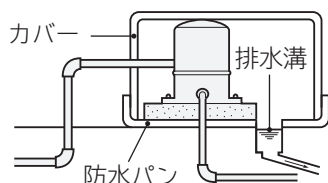


- **モーター、コントローラーに触れない**
高温になっていますので、やけどの原因になります。
- **空運転(水源に水のない状態での運転)はしない**
ポンプ内の水が熱湯になり、やけど、故障の原因になります。
- **コンセントを抜いた状態でも、操作コントローラーの表示が消えるまでコントローラーには触れない**
感電の原因になります。

そのほか



- **ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない**
変形、脱落により、けがをする恐れがあります。
- **防水処理、排水処理されていない床面に設置しない**
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。
※ポンプの寿命などで水漏れを起こした場合、発見が遅れると周囲が水浸しになり、大きな補償問題になる場合があります。



- **清水以外の液体や温水(40℃以上)には使用しない**
破損により、けがや感電の恐れがあります。
 - **標高1000m以上の場所には設置しない**
揚水量低下の恐れがあります。
 - **発電機での電源供給や、車両、船舶での使用はしない**
電力が安定せず、正常なポンプの運転ができません。
 - **他社の除菌器は結線、接続しない**
ポンプコントローラー故障の原因になります。
 - **汎用インバータと接続しない**
故障の原因になります。
- ⚠
- **製品の取り扱い時は、手袋をして作業を行う**
けが防止のためです。
 - **据え付けは、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼する**
ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
 - **飲用水として使用する場合は、水質検査を実施する**
飲用水として使用する場合は、保健所の指示に基づき水質検査を実施してください。
水質によっては健康を損なう原因となります。
 - **本体を運搬するときは、本体底面を持って2人以上で運ぶ**
けが防止のためです。
 - **コントローラーや圧力センサーなどをつかんだり、本体を引きずって運ばない**
故障の原因になります。

使用上のご注意

■運転中は電源プラグを抜かない

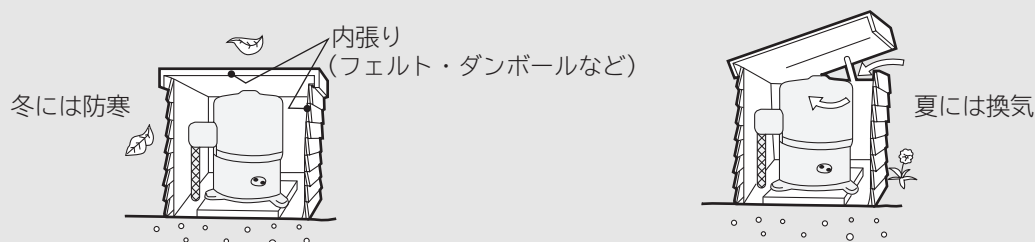
故障の原因になりますので、**停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にしてから電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。

■テレビやラジオなどの電子機器を近付けない

テレビ画面の乱れや、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■冬期には凍結防止策を行う

凍結による破損事故については責任を負えません。凍結防止対策を行ってください。→(P.20)



■長期間水を使用しなかった場合は、しばらく通水し、水がきれいになってから使用する

■配管の凍結防止を目的として、水栓から少量の水を流し続けることはしない

少量の水を流し続けると、ポンプの運転・停止がひん繁になり、寿命を縮める原因になります。

■長期間使用しない場合は水抜きをする

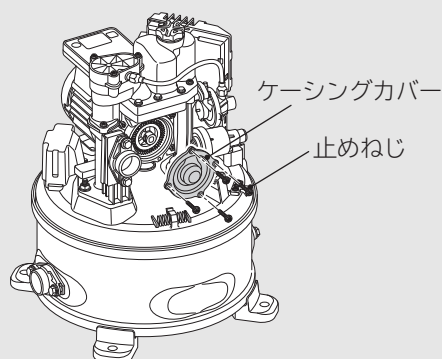
電源プラグをコンセントから抜いている場合、ポンプの凍結防止機能→(P.20)が作動せず、ポンプヘッド部が凍結し、破損する恐れがあります。

下記の手順で水抜きを行ってください。

再びご使用されるときは、呼び水を入れてから運転してください。→(P.16)

ポンプの水抜きのしかた

- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る
- 3 吐出側の水栓を開き、圧力を逃がす
- 4 ケーシングカバーの止めねじ(4本)を外す
- 5 ケーシングカバーを本体から外して水を抜く
- 6 水が全部抜けたら、ケーシングカバーを元どおりの位置に止めねじ(4本)で固定する

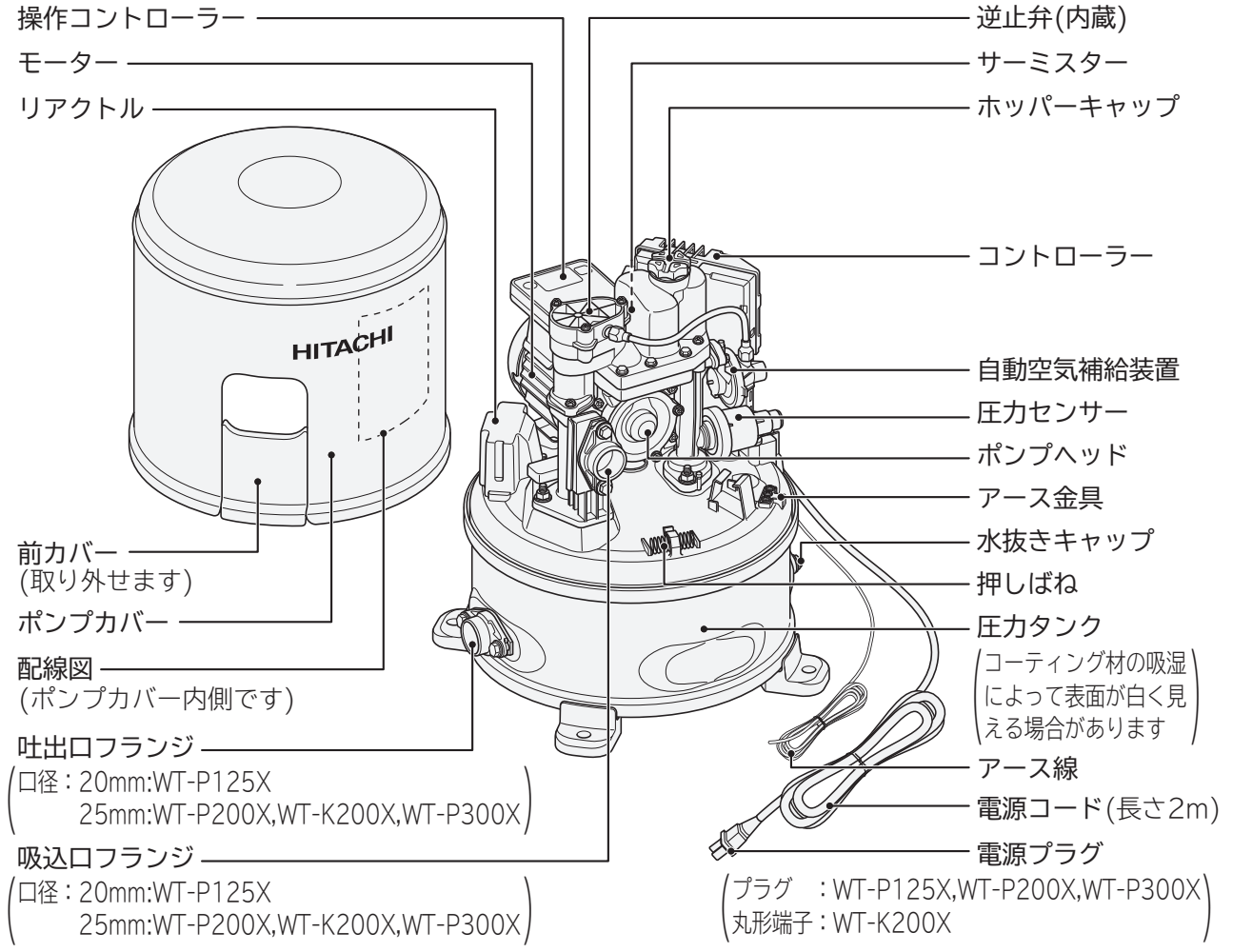


ご注意 ケーシングカバーには、漏水防止のためのパッキン(Oリング)が装着されています。ケーシングカバー組込みの際は、パッキンの脱落やかみ込みがないよう注意してください。

各部のなまえ

製品は検査の上お届けしておりますが、輸送中の振動などで破損や付属品の脱落などがある場合がありますので、念のため確認してください。

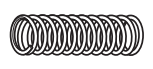
WT-P125X・WT-P200X・WT-K200X・WT-P300X



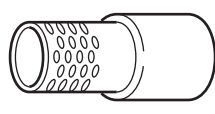
※図はWT-P200Xです。

付属品 (取り付けかたは[据え付け工事について]の項を参照ください)

押しばね
 吸上高さが3mより浅いとき、
 または押し揚程のときは、逆止
 弁の中に入れます。→(P.12)



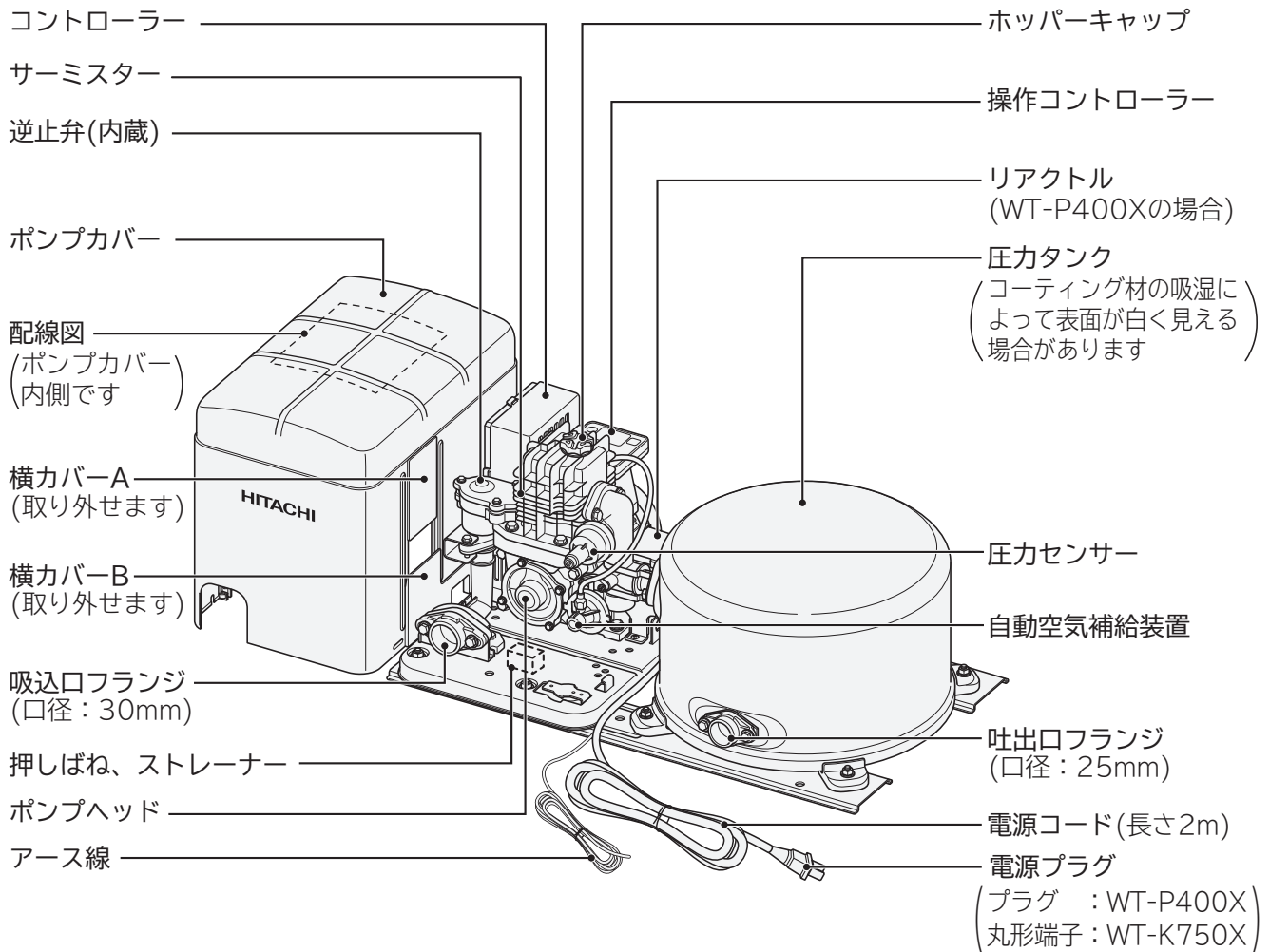
ストレーナー
 吸込管の先端に接続します。
 →(P.9)



ご注意

ポンプ開梱時、通水試験の残水がフランジ
 より出ることがあります。

WT-P400X・WT-K750X



※図はWT-P400Xです。

付属品 (取り付けかたは[据え付け工事について]の項を参照ください)

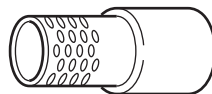
押しばね

吸上高さが3mより浅いとき、
 または押し込揚程のときは、逆止
 弁の中に入れます。→(P.12)



ストレーナー

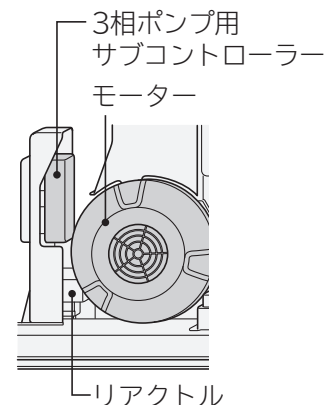
吸込管の先端に接続します。
 →(P.9)



ご注意

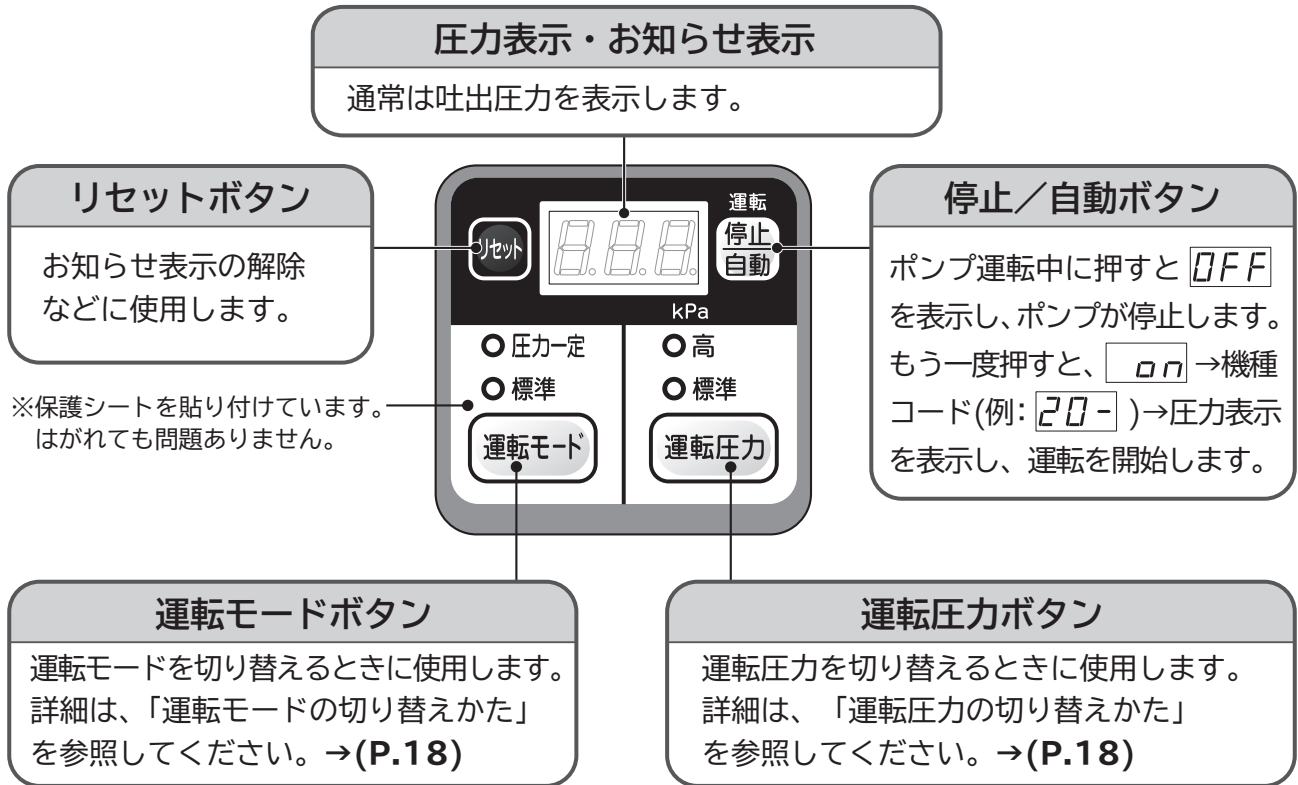
ポンプ開梱時、通水試験の残水がフランジ
 より出ることがあります。

WT-K750Xの場合



各部のなまえ (続き)

操作コントローラーのはたらき

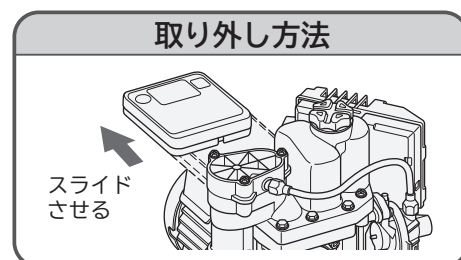
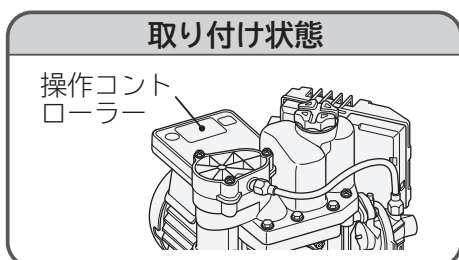


操作コントローラーの表示について

運転中の表示

表示		内容	
運転中	点灯時 (常時点灯) [例] 240	ポンプの吐出圧力を表示します。例えば 240 のときは240kPaです。モーターが回転している状態です。(右下にドット「.」表示あり)	
停止中	点灯時 [例] 190	ポンプの吐出圧力を表示します。例えば 190 のときは190kPaです。モーターが停止している状態です。約3分後に消灯します。	
	消灯時 [例] . . . ※停止から3分後	ポンプの電源が入っており、モーターが停止している状態です。 運転モード または 運転圧力 を押すと、吐出圧力表示に戻ります。	

操作コントローラーについて (操作しにくいときは、取り外してご使用ください)



据え付け工事について

(販売店様・工事店様用)

[工事をされる方へのお願い]

- 据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- 製品機能が十分発揮できるように、この「据え付け工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 据え付け後は試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

吸上高さの確認

吸上高さは、以下の手順で水位(ポンプ中心から水面まで)と吸込管の全長から算出してください。吸上高さが仕様を超えた場合、ポンプが停止しません。

1 水位の確認

運転中の水位変化、渇水期の水位低下を考慮し、ポンプの中心から水面までの高さを確認してください。

2 吸込管全長の確認

吸込管全長を確認してください。
吸込管全長は吸込管先端からポンプまでです。

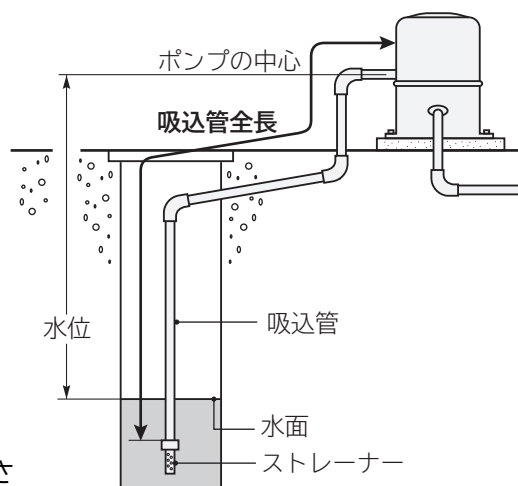
3 吸上高さの算出

水位と吸込管全長から吸上高さを算出してください。

吸上高さの算出式

$$\text{水位} + (\text{吸込管全長} \times 0.1) = \text{吸上高さ}$$

【例】水位が5m、吸込管全長が10mのときの吸上高さ
 $5\text{m} + (10\text{m} \times 0.1) = 6$



4 吸上高さの確認

算出した吸上高さが、下表の仕様の範囲であることを確認してください。
吸上高さはポンプ型式によって異なります。下表により確認してください。

ポンプ型式	吸上高さ
WT-P125X、WT-P200X、WT-P400X、WT-K200X	8m
WT-P300X、WT-K750X	7m

ご注意

- フランジ口径はポンプ型式によって異なります。→(P.28)
- 吸込管にフランジ口径より細い配管を使用した場合、ポンプが停止しない場合があります。

据え付け前の確認 (続き)

押上高さの確認

押上高さは、以下の手順で水栓高さ(ポンプ中心から水栓まで)と吐出管の全長から算出してください。押上高さが仕様を超えた場合、水栓から水が出ません。

1 水栓高さの確認

ポンプの中心から水栓までの高さを確認してください。

2 吐出管全長の確認

吐出管全長を確認してください。

吐出管全長は吐出管先端からポンプまでです。

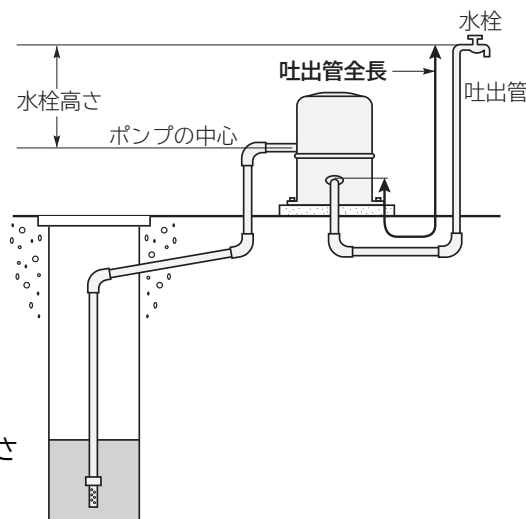
3 押上高さの確認

水栓高さと吐出管全長から押上高さを算出してください。

押上高さの算出式

$$\text{水栓高さ} + (\text{吐出管全長} \times 0.1) = \text{押上高さ}$$

【例】水栓高さが3m、吐出管全長が20mのときの押上高さ
 $3\text{m} + (20\text{m} \times 0.1) = 5\text{m}$



4 ポンプ型式の確認

算出した押上高さが、仕様の範囲であることを確認してください。

水栓が複数あるときは、それぞれの配管で算出し、最も高くなる押上高さで判断してください。

押上高さはポンプ型式および運転モード、運転圧力によって異なります。→(P.28)

ご注意

- フランジ口径はポンプ型式によって異なります。→(P.28)
- 吐出管にフランジ口径より細い配管を使用した場合、配管抵抗により水栓から水が出ない場合があります。

電源の確認

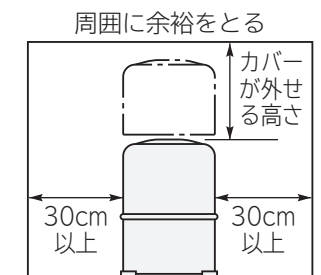
ポンプ型式によって相・電源電圧が異なります。

下表により確認してください。

ポンプ型式	相・電源電圧
WT-P125X、WT-P200X、WT-P300X、WT-P400X	単相・100V
WT-K200X、WT-K750X	3相・200V

据え付け場所の確認

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- ポンプは出来るだけ井戸の近くに取り付けてください。
- 水平な場所に据え付けてください。凹凸のある場所や傾いた場所に据え付けた場合、振動や騒音が大きくなる場合があります。
- ガス類や引火物の近くには据え付けしないでください。火災の恐れがあります。
- 可燃物(木材や段ボールなど)の上には設置しないでください。火災の恐れがあります。



ほかの機器との組み合わせについて

除鉄・除菌システム、除菌器および浄水器と組み合わせる場合は、各器の耐水圧仕様を確認してください。ポンプの停止圧が耐水圧を超える場合は、減圧弁(市販品)を使用し、過大圧力が加わらないようにしてください。

井戸の砂について

- 新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分に除去してから配管してください。
- 砂が多い場合は、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。→(P.12)

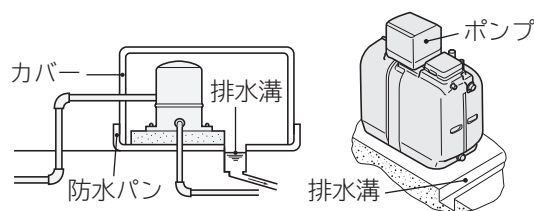
据え付け前のご注意

⚠ 注意



防水処理・排水処理されていない床面に設置しない
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。防水パン・カバーなどで、吹き出した水が排水できるようにしてください。

※カバーは風通しがよい構造にしてください。
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。



■できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付ける
製品を長持ちさせるため、屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。

■水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定する
基礎は沈下を防ぐために、コンクリートで作ることをおすすめします。

■吸込管を共有した2台以上の並列接続はしない
揚水量の減少や、ポンプが正常に動作しなくなる場合があります。

■ポンプの直列接続はしない
ポンプ内の水圧が上がり、水漏れする恐れがあります。

■給水面がポンプヘッドより高くなる時(押込揚程のとき)は、2m以内にする

- ウォーターハンマーなどにより、ポンプの部品が破損したり、漏水するのを防ぎます。
- 吸込口の近くに仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。点検・修理の際に必要です。

■吸上高さが3mより浅いとき、または押込揚程(2m以内)のときは、逆止弁に押しばね(付属品)を入れる
自動空気補給装置および逆止弁の働きを安定させます。

ご注意 押しばねの抵抗により、揚水量が減少しますが、異常はありません。

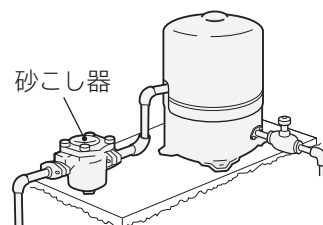
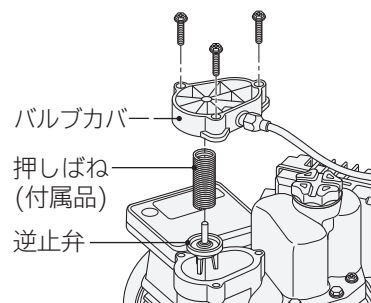
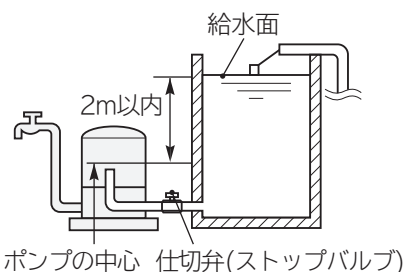
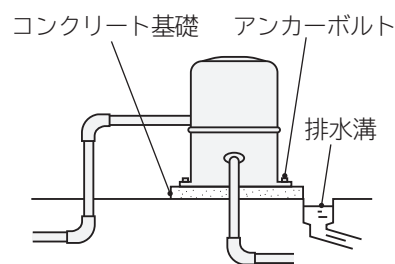
■市販の給水機器との組み合わせについて

- フラッシュバルブを使うと、いったん水が途切れますので使用は避けてください。
- ボイラーへの給水は、減圧弁を使用してボイラーに過大圧力が加わらないようにしてください。

ご注意 ポンプ運転圧力は、「仕様」→(P.28)を参照してください。

■砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付ける

- 砂こし器はポンプの吸込側に取り付けてください。吐出側に取り付けると、砂こし器が水圧に耐えられず、水漏れする恐れがあります。
- ポンプヘッド部の砂かみや摩耗を防ぎます。



配管工事について

新規に接続の場合

1 準備するもの

市販の配管、継手、ストップバルブなどを準備してください。

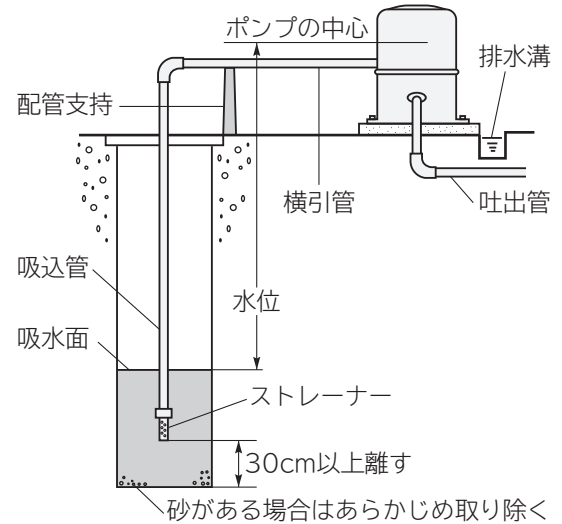
配管は水道用硬質塩化ビニル管を使用してください。

2 吸込管の接続

- (1) ポンプ内に異物が混入しないように、付属のストレーナーを取り付ける
- (2) 吸込管先端を井戸底から30cm以上離して、ポンプの吸込口フランジにバルブソケットで接続する

3 吐出管の接続

- (1) 圧力タンクの接続しやすい位置のフランジに、バルブソケットで吐出管を接続する
- (2) 吐出口の位置を変えるときは、吐出フランジ、予備フランジをボルトとともに交換する
- (3) 吐出口には仕切弁(ストップバルブ)を取り付ける



配管工事の際のお願い

警告



ポンプを水道管に直接配管しない

ポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。

- 配管重量がポンプに加わらないようにする
- 配管の継ぎ目は空気の吸い込みや水漏れがないように行う
性能低下の原因になります。
- 配管工事の際、配管の中に切りくずや小石、接着剤が入らないようにする
ポンプの羽根車や逆止弁につまり、揚水不能の原因になります。
- 水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる個所を少なくする
性能低下、揚水不能の原因になります。
- 過大な力でねじ・ボルト類を締め付けない
破損の原因になります。

既設の日立ポンプを取り替える場合

WT-P125X

現在お使いのポンプのシリーズ名(型式末尾のアルファベット)によってサービス部品が必要になる場合があります。
現在お使いのポンプのシリーズ名と必要なサービス部品をご確認ください。

シリーズ名	吸込側		吐出側	
	必要なサービス部品	配管	必要なサービス部品	配管
W・V・S型	なし	変更なし	なし	変更なし
J・H型	なし	フランジをしめ込む方向に約30°回転させる	なし	変更なし
F型以前	スペースブクミ(S80) WT-P80H 005 希望小売価格:500円(税別)	付属のフランジと交換する	なし	変更なし

※希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

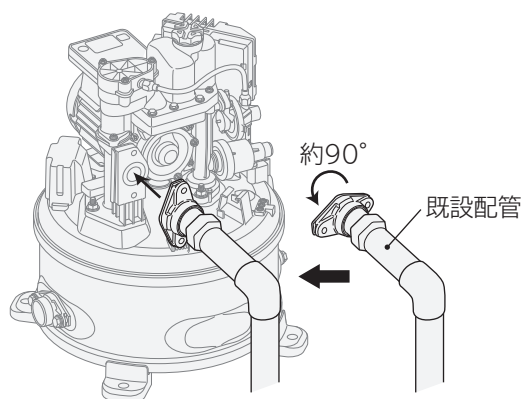
WT-P200X、WT-P300X、WT-K200X

現在お使いのポンプのシリーズ名(型式末尾のアルファベット)によってサービス部品が必要になる場合があります。
現在お使いのポンプのシリーズ名と必要なサービス部品をご確認ください。

シリーズ名	吸込側		吐出側	
	必要なサービス部品	配管	必要なサービス部品	配管
W・V・S型	なし	変更なし	なし	変更なし
J・H型	なし	フランジをしめ込む方向に約90°回転させる	なし	変更なし
F型以前	スペースブクミ(S200) WT-P200H 005 希望小売価格:500円(税別)	フランジをしめ込む方向に約90°回転させる	スペースブクミ(D200) WT-P200G 004 希望小売価格:500円(税別)	変更なし

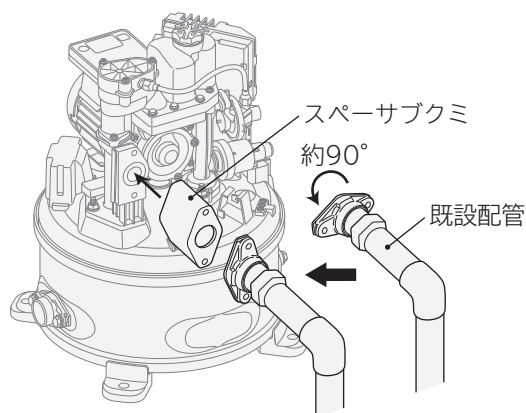
※希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

取り付け例：J・H形と交換するとき



[WT-P200Xのとき]

取り付け例：F形以前と交換するとき



[WT-P200Xのとき]

WT-P400X、WT-K750X

従来のポンプ(W型以前)との互換性があります。
配管は既設まま接続できます。

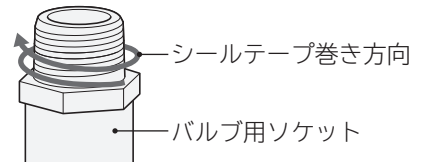
配管工事について（続き）

配管の施行の基礎

フランジとバルブソケットの接続方法

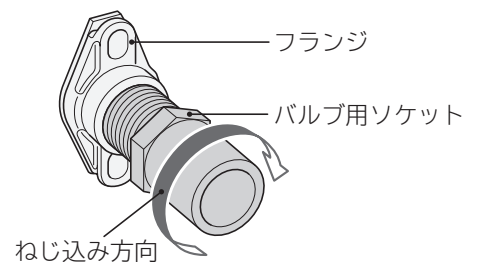
1 シールテープの巻き方

水漏れや空気吸い込み防止のため、市販のバルブ用ソケットにシールテープを十分に巻いてください。シールテープは、バルブ用ソケットのねじと逆方向に巻いてください。



2 バルブ用ソケットにフランジを取り付ける

フランジを本体から取り外し、フランジにバルブ用ソケット取り付けてください。本体にフランジを取り付けたままバルブ用ソケットを取り付けると、破損の原因になります。取り付けの際には、パイプレンチなどを用いて十分にねじ込んでください。



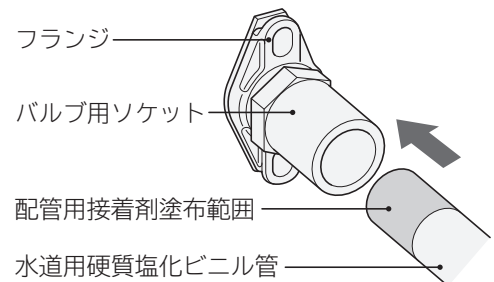
水道用硬質塩化ビニル管の接着方法

1 配管用接着剤を塗布する

市販の水道用硬質塩化ビニル管に接着剤を塗布します。

2 配管と継手を接続する

水道用硬質塩化ビニル管を継手(バルブ用ソケットやエルボなど)に差し込んでください。



- ご注意**
- 水道用硬質塩化ビニル管は継手に差し込んだまま10秒以上保持してください。途中で手を離すと、抜けてしまう場合があります。
 - 通水は、接着剤が乾いてから行ってください。乾く前に通水すると、ポンプが接着剤を吸い込み、つまりなど不具合の原因になります。

配線工事について

警告

- ❗ 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全に行う
誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。
- 🚫 テーブルタップによるタコ足配線はしない
発煙・発火の原因になります。

- ほかの電子機器などへ悪影響を与えないため、専用の配線にしてください。
- 同一分岐回路に照明器具がありますと、ポンプの起動時、照明器具がちらつくことがあります。
- 本製品はマイコンにて制御していますので、運転時の電圧が低くならないよう
(定格電圧の±10%以内)にしてください。

アース線の接続と漏電遮断器について

警告

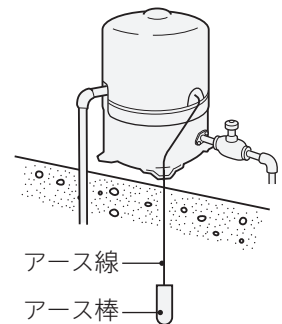
- ⚡ アースを取り付け、専用の漏電遮断器を設置する
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

- 漏電したときの感電事故を防ぐため、取り付けてください。(取り付けは有料です)
- アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事(電気工事士が行います)が必要です。
- 工事の際は、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切った状態で接続してください。

アース線の接続について

D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。
既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足していることを確認してから接地してください。

ご注意 次のようなところには、アース線を接続しないでください。(法令などで禁止)
ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)



漏電遮断器について

- 漏電遮断器は⚡マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
- 既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。

電源電線について

- WT-P125X、WT-P200X、WT-P300X、WT-P400Xのとき
専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。
やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。
- WT-K200X、WT-K750Xのとき
電源側にはブレーカーを設け、ブレーカーの端子部に接続してください。

試運転

試運転のしかた

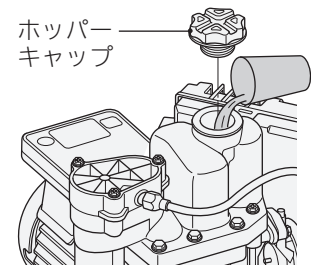
- 1 ホッパーキャップを外し、呼び水を十分に入れる
押し揚程のときは、水源から急激に流れ込む場合があります
のでご注意ください。
- 2 ホッパーキャップをしっかりねじ込む
- 3 吐出側の水栓を1か所開く
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む
□□□ →機種コード（例：□□□-）→圧力が表示され、
ポンプが運転を開始します。

- ご注意**
- 空運転によるポンプの痛みを防ぐため、ポンプに呼び水をしないうちに運転しないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。
 - 自吸中はポンプの傷みを防ぐため、低速で運転することがありますが、揚水後、水栓を閉じ圧力が上昇すると通常運転に戻ります。

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

（300W以下：約230mL）
（400W以上：約600mL）

- モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



- 吸上高さが高い場合や、横引管が長い場合は、揚水するまで時間がかかります。揚水しない場合は、2～3分ごとに1回呼び水を入れる作業を繰り返してください。

運転状態の確認

- 1 運転を開始したら水栓を開閉し、ポンプの運転状態や、漏水がないか確認する
- 2 水栓を閉じてポンプが停止することを確認する
ポンプの起動頻度を抑えるため、水栓を閉じた状態でもタイマーが働き、しばらく運転しますが、異常ではありません。
- 3 ポンプカバーをかぶせてねじ止めする

- ご注意** 水栓を閉じたあと、凍結防止運転(PH)を開始する場合がありますが、異常ではありません。水栓を開いて、水を使用すると通常運転に戻ります。

運転のしかた

運転モードについて

工場出荷時は、運転モードを「標準」に設定しています。必要に応じて「圧力一定」に切り替えて使用することができます。ただし、配管や水栓から水漏れしている場合や、長時間連続して水を使う場合は、「標準」をおすすめします。

また、使用状態や用途に応じて、運転圧力を切り替えることができます。→(P.18)

「標準」モードの運転圧力について

ポンプの起動圧力(ON圧力)・停止圧力(OFF圧力)を定め、ポンプを断続運転させる運転モードです。ポンプを断続運転し、自動空気補給装置を作動させ、圧力タンク内へ定期的に空気を補給します。運転圧力の設定により、起動圧力(ON圧力)・停止圧力(OFF圧力)が下表のように変わります。

型 式	運転圧力	吸上高さ	押上高さ	標準	
				ON圧力	OFF圧力
WT-P125X	「標準」(工場出荷時)	吸上げ8m~0m	14m	150kPa	200kPa
	「高」	吸上げ3m~押込み2m	18m	190kPa	240kPa
WT-P200X WT-K200X WT-P300X	「標準」(工場出荷時)	吸上げ8m~0m (WT-P300Xは吸上げ7m~0m)	18m	190kPa	240kPa
	「高」	吸上げ3m~押込み2m	26m	270kPa	320kPa
WT-P400X WT-K750X	「標準」(工場出荷時)	吸上げ8m~0m (WT-K750Xは吸上げ7m~0m)	23m	250kPa	310kPa
	「高」	吸上げ3m~押込み2m	30m	320kPa	380kPa

「圧力一定」モードの運転圧力について

ポンプの運転圧力の変動を「標準」より抑えた運転モードです。

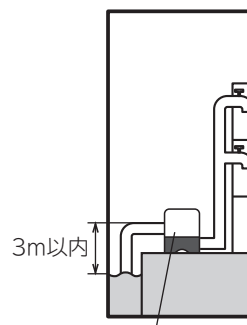
制御圧力(運転圧力)は、下表の設定となっております。

型 式	運転圧力	吸上高さ	押上高さ	圧力一定	
				ON圧力	制御圧力
WT-P125X	「標準」(工場出荷時)	吸上げ8m~0m	17m	180kPa	200kPa
	「高」	吸上げ3m~押込み2m	21m	220kPa	240kPa
WT-P200X WT-K200X WT-P300X	「標準」(工場出荷時)	吸上げ8m~0m (WT-P300Xは吸上げ7m~0m)	21m	220kPa	240kPa
	「高」	吸上げ3m~押込み2m	29m	300kPa	320kPa
WT-P400X WT-K750X	「標準」(工場出荷時)	吸上げ8m~0m (WT-K750Xは吸上げ7m~0m)	26m	270kPa	310kPa
	「高」	吸上げ3m~押込み2m	32m	340kPa	380kPa

少水量使用時は、制御圧力とON圧力の範囲で圧力変動する場合があります。

ご注意

- 運転圧力「高」でご使用になる場合は、吸上高さ3m以内で使用してください。過負荷によるポンプの故障や寿命低下を防ぐためです。
- 吸上高さが3mより浅いとき、または押込み揚程(2m以内)のときは、逆止弁に押しばね(付属品)を入れてください。→(P.12)

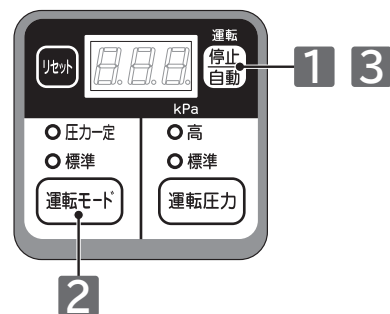


(例) 押し上げ専用ポンプとして使用

運転のしかた（続き）

運転モードの切り替えかた

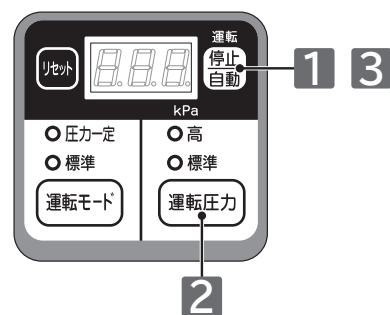
- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 **運転モード** を押し、希望のモード（ 標準 または 圧力一定）のランプを点灯させる
運転モード を押すごとにランプは切り替わります。
- 3 **停止自動** を押す



- ご注意**
- **停止自動** を押す前に **リセット** を押すと、設定前に戻ります。
 - 各ボタン（**停止自動** **運転モード** **運転圧力**）を長押しすると、サービス機能（→(P.21)記載以外）を表示することがあります。
サービス機能が表示された場合は、**リセット** を押ししてください。

運転圧力の切り替えかた

- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 **運転圧力** を押し、希望のモード（ 標準 または 高）のランプを点灯させる
運転圧力 を押すごとにランプは切り替わります。
- 3 **停止自動** を押す



- ご注意**
- **停止自動** を押す前に **リセット** を押すと、設定前に戻ります。
 - 各ボタン（**停止自動** **運転モード** **運転圧力**）を長押しすると、サービス機能（→(P.21)記載以外）を表示することがあります。
サービス機能が表示された場合は、**リセット** を押ししてください。

角形受水槽との組み合わせについて

WT-P125X、WT-P200X、WT-P300X、WT-K200X

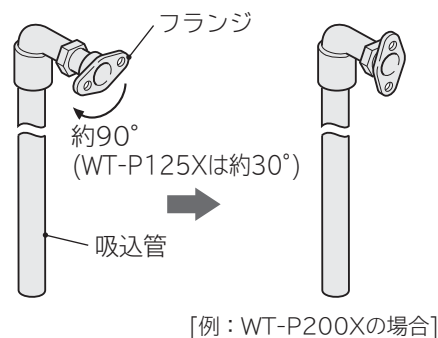
J形以前の角形受水槽を組み合わせてご使用になる際は、下記に注意してください。

角形受水槽との接続について

取り付けの詳細は、角形受水槽の取扱説明書をご覧ください。

ご注意 角形受水槽に付属の吸込管を接続の際は、フランジを回転させてください。

型 式	回転角度
WT-P125X	約30°
WT-P200X、WT-K200X、WT-P300X	約90°



断水リレーの接続について

J形以前の角形受水槽に付属の断水リレーを接続する際は、下記サービス部品を購入してください。詳細はサービス部品の説明書をご覧ください。

型 式	部品名	部品番号	使用数量	希望小売価格
WT-P125X	セツゾクキット(125S)	UB-200J 010	1	800円(税別)
WT-P200X、WT-K200X、WT-P300X	セツゾクキット(UB)	UB-200J 006	1	1,200円(税別)

※セツゾクキット(UB)には、スパーサブクミ(S200)が含まれています。→(P.13)

※希望小売価格は、価格改正に伴い、変更する場合があります。

運転圧力の切り替えについて

運転圧力は切り替え可能です。→(P.18)

満水警報器の接続について

B-UV形以前の満水警報器を接続する際は、下記サービス部品を購入してください。詳細はサービス部品の説明書をご覧ください。

部品名	部品番号	使用数量	希望小売価格
セツゾクハーネス(B-UW)	UB-200W 002	1	2,200円(税別)

※希望小売価格は、価格改正に伴い、変更する場合があります。

ご注意 WT-K200Xには満水警報器は接続できません。

除菌器の接続について

- ご注意**
- 他社除菌器は結線できません。ポンプコントローラー故障の原因になります。
 - 日立除菌器を下記のサービス部品で結線する場合は、1台としてください。
複数台接続すると、ポンプコントローラーの許容電流(2A)を超え、ポンプコントローラー故障の原因になります。

除菌器はポンプの運転状態に応じて間欠運転をします。

結線について

除菌器を接続する際は、除菌器の型式に応じて下記サービス部品を購入してください。
詳細はサービス部品の説明書をご覧ください。

	組み合わせ除菌器			
	CS-20J1以前	CS-20NS	CS-30S、CS-30S2、CS-30V、CS-30V2、CS-130W、CS-230W	
部品名	セツゾクコネクタ(CS)	サービス部品	サービス部品	ポンプで制御する場合
部品番号	CS-20J1 002	不要	不要	テイソクウンテンハーネス CS-30S 021
希望小売価格	400円(税別)	—	—	1,500円(税別)

※希望小売価格は、価格改正に伴い、変更する場合があります。

カルキ量の調整について

除菌器接続後はカルキ量の調整を再度行ってください。
(カルキ量の調整方法は、除菌器の取扱説明書をご覧ください)

防寒について

暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがあるため、凍結防止策を行ってください。

※凍結による破損事故については責任を負えません。

警告



ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすい物を入れない
過熱して発火することがあります。

凍結防止策

配管

- 横引部分……地中に埋めてください。
- 地上の露出部分……保温材を使用してください。
寒冷地では市販の水道凍結防止帯をご使用ください。

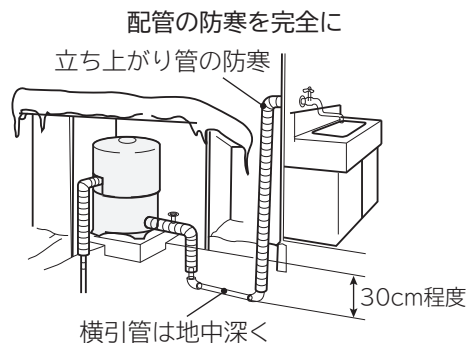
ポンプ

屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。
小屋は夏に換気ができるようにしてください。

凍結防止運転

- 周囲の温度が約3℃以下になると自動的にポンプを運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止します。
凍結防止運転中に水を使用すると、通常運転に戻ります。
- 凍結防止の効果は周囲温度が-5℃ぐらいまでが目安です。

※凍結防止運転については、「操作コントローラーにこんな表示が出たら」をご覧ください。→(P.21)



お困りのとき

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

操作コントローラーにこんな表示が出たら

お知らせ表示と内容（販売店、工事店へ連絡し、お客様は処置しないでください）

お知らせ表示	お知らせ内容		確認するところ
	空運転	井戸の水位低下やポンプの呼び水落ちにより、空運転が続いた場合に表示し、ポンプが停止します。	井戸の水位や逆止弁の水封不完全での水落ちを確認してください。
	受水槽断水	上水道の断水などにより、受水槽内が空になった場合に表示し、ポンプが停止します。	<ul style="list-style-type: none"> ●断水の原因を確認してください。 ●断水リレー用コネクタ(青)は差し込まれていますか。 ●電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。 ●断水リレー用コネクタ(青)は差し込まれていますか。
	欠相 (WT-K200X、 WT-K750Xのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	
	ポンプヘッド 過昇温	ポンプヘッドが異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。 (約40℃まで温度が下がると自動復帰します)	<ul style="list-style-type: none"> ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。 ●次によりポンプが停止せず、連続運転になっていませんか。 (1)井戸の水位低下や逆止弁の水封不完全での水落ち (2)ポンプや配管からの水漏れ (3)羽根車やケーシングの摩耗 (4)圧力タンクの空気不足 →圧力タンク内の水を抜いてください。
	不足電圧	異常に低い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを延長していませんか。 ●同じコンセントにほかの機器を接続していませんか。
	過電流 または モーターロック	砂かじりなどによって羽根車がロックし、異常な電流が流れたときに表示し、ポンプが停止します。	ケーシング内の異物除去や羽根車などの固着がないか確認してください。
 (WT-P400X、 WT-K750Xのみ)	コントローラー 過昇温	コントローラー内が異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。	<ul style="list-style-type: none"> ●モーターとコントローラーの間に取扱説明書などはさみ込みがないか確認してください。 ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。
	圧力センサー 断線	圧力センサーからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	圧力センサーのコネクタは差し込まれていますか。
	サーミスター 断線	サーミスターからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	サーミスターのコネクタは差し込まれていますか。
 (WT-K200X、 WT-K750Xのみ)	欠相	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。 ●断水リレー用コネクタ(青)は差し込まれていますか。
 (WT-P125X、WT-P200X WT-P300X、WT-K200Xのとき)	高圧力	ポンプ内圧が400kPa以上(WT-P400X、WT-K750Xは500kPa以上)の場合に表示します。	水道管直結や押込高さが2mを超えていないか確認してください。また、水栓の急閉により内圧が上昇し、表示する場合があります。圧力タンクの水抜きをしてください。 ※ポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。
 (WT-P400X WT-K750Xのとき)			
	凍結防止運転	周囲の温度が約3℃以下になると、自動的にポンプを運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止します。凍結防止運転中に水を使用すると、通常運転に戻ります。	—

お困りのとき (続き)

症 状	確認するところ	直しかた
ポンプが止まらない	圧力タンクの空気が不足していませんか。	圧力タンクの水抜きをしてください。→(P.23)
	水栓、配管から漏水していませんか。→(P.23) (漏水チェック機能でポンプ停止→圧力低下)	配管を修理してください。
	ポンプヘッド部が摩耗、または変形していませんか。 →(P.23) (漏水チェック機能でOFF圧力まで上がらない)	ポンプヘッド部の部品を交換してください。
	水位が低下していませんか。	水位を確認してください。 規定の吸上高さより深い場合は、機種を変更してください。
	 表示が出ていませんか。	凍結防止運転を行っている ので、異常ではありません。
ポンプが回らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを差し込んでください。
	ブレーカー、漏電遮断器が切れていませんか。	ブレーカー、漏電遮断器を確認してください。
	お知らせ表示が出ていませんか。→(P.21)	お買い上げの販売店または 工事店へご連絡ください。
使用していないのに ポンプが起動する	漏水チェック機能で、配管の漏水を確認してください。→(P.23)	配管を修理してください。
モーターは回るが揚水 しない	水位、配管の長さを確認してください。	配管を修理、または吸上げに 余裕がある場合は、吸込管を 延長する。
	吸込管から空気を吸い込んでいませんか。 吸込管の各つなぎ目部を点検・確認してください。	配管を修理してください。
吐出圧力表示・お知ら せ表示が点灯しない	 [ドット] 表示になっていませんか。	消費電力を抑えるため吐出圧 力表示はポンプ停止の約3分後 に消灯しますので、異常ではあ りません。→(P.8)

漏水を確認するときは(漏水チェック機能)

1 **停止自動** を押して **OFF** にする

2 水栓を開き、水栓から水が出なくなったのを確認後、水栓を閉じる

3 **OFF** 表示している状態で、**停止自動** を押し続ける

ポンプが強制運転を開始します。

圧力が強制運転停止圧力値以上に上昇して、ポンプが自動停止するまで **停止自動** を押し続けます。

吸上高さによっては強制運転停止圧力値まで上昇しない場合があります。

圧力値が上昇しなくなったら、**停止自動** を離してください。

型 式	運転圧力	強制運転停止圧力
WT-P125X	「標準」(工場出荷時)	約240kPa
	「高」	約290kPa
WT-P200X WT-K200X WT-P300X	「標準」(工場出荷時)	約300kPa
	「高」	約360kPa
WT-P400X WT-K750X	「標準」(工場出荷時)	約370kPa
	「高」	約420kPa

※ 3 の状態(ポンプ停止)で、圧力値が低下する場合は、漏水がないか確認してください。

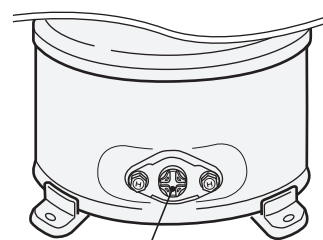
圧力タンク内の水を抜くときは

1 **停止自動** を押して **OFF** にする

2 電源プラグをコンセントから抜く、または、ブレーカーを切る

3 吐出側の水栓を開き、圧力を逃がす

4 水抜きキャップを外して水抜きをする



水抜きキャップ

押込揚程や吸上高さが3mより浅いとき、または長時間連続運転をする場合は、圧力タンク内の空気不足を解消するために、月に一度を目安に上記手順で圧力タンク内の水を抜いてください。

消耗部品について

下表の部品は消耗部品です。交換時期の目安を参考に、部品の交換をおすすめします。

部品名	交換時期の目安	消耗品に起こること
メカニカルシール	累積運転時間 約3,000時間	水漏れ、揚水しない、ポンプが止まらない など
パッキン	分解・点検時	水漏れ、揚水しない、ポンプが止まらない など

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保存してください。なお、食品や動植物の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.25)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは

21、22ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

出張修理

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。
※修理点検でポンプ以外に原因があった場合は、保証期間内でも有料になることがあります。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	浅深両用ポンプ
型式	ダブルティー ビー エックス WT-P200Xなど
製品番号	7000001など
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。



技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合は、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

- 車両、船舶に搭載して使用された場合。
- 業務用使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換が必要になることがあります。

保証とアフターサービス (続き)

愛情点検		長年ご使用のポンプの点検を！〔2～3年に一度点検を依頼してください(有料)〕	
	<p>ご使用の際、このような症状はありませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する。 ● ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。 ● 水を使用していないのに、ポンプが運転する。 ● コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。 ● 運転中に異常な音や振動がする。 ● 水漏れがする。(ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など) ● 焦げ臭い“におい”がする。 ● 触るとビリビリと電気を感じる。 ● その他の異常がある。 	
	<p>ご使用中</p>	<p>このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから販売店に点検・修理をご相談ください。</p>	

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ
 なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は、下記窓口にご相談ください。
 ※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口	
TEL	0120-3121-19
FAX	0120-3121-34
<p>(受付時間) 9:00～17:30 (月～土) 日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。</p>	

修理に関するご相談窓口	
TEL	0120-3121-68
携帯電話・PHSから	0570-0031-68 (有料)
FAX	0120-3121-87
<p>(受付時間) 9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)</p>	

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。

URL <http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html> または

「お問い合わせ」ページの ボタンより入力画面にお進みください。

(注) 対象製品をご確認のうえお申込みください。

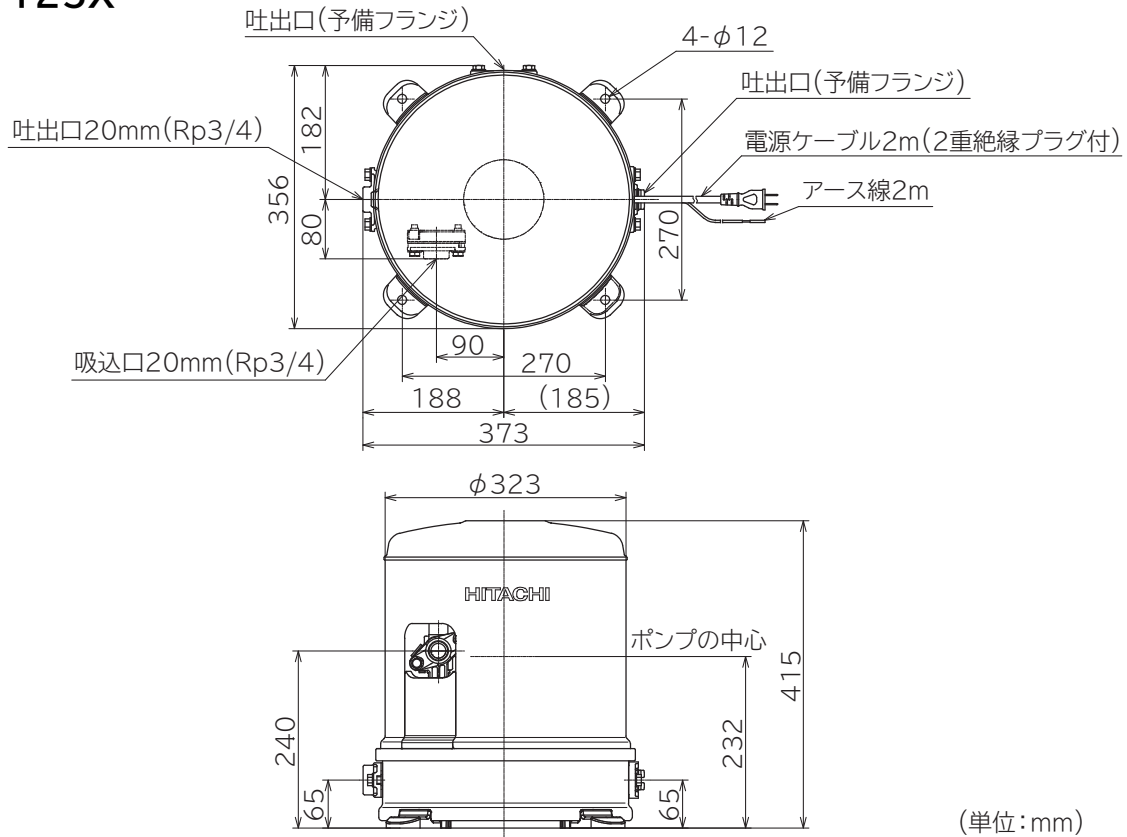
- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕様

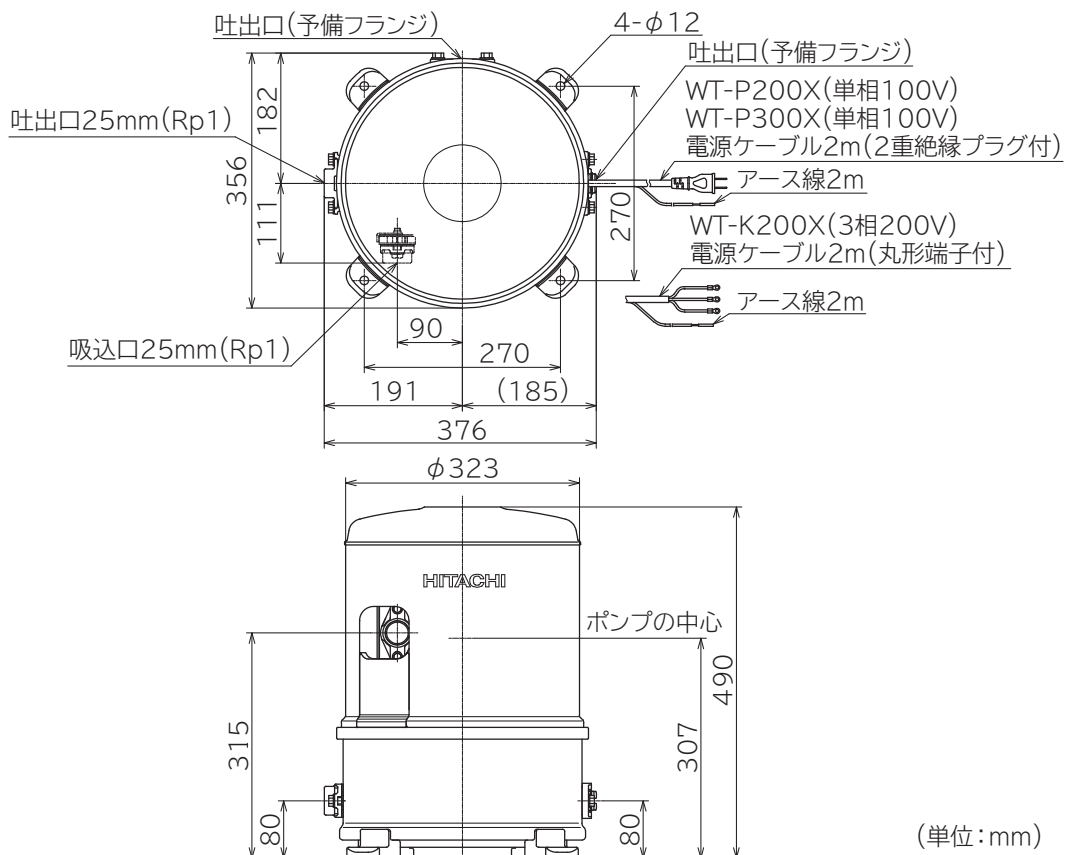
この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

製品寸法

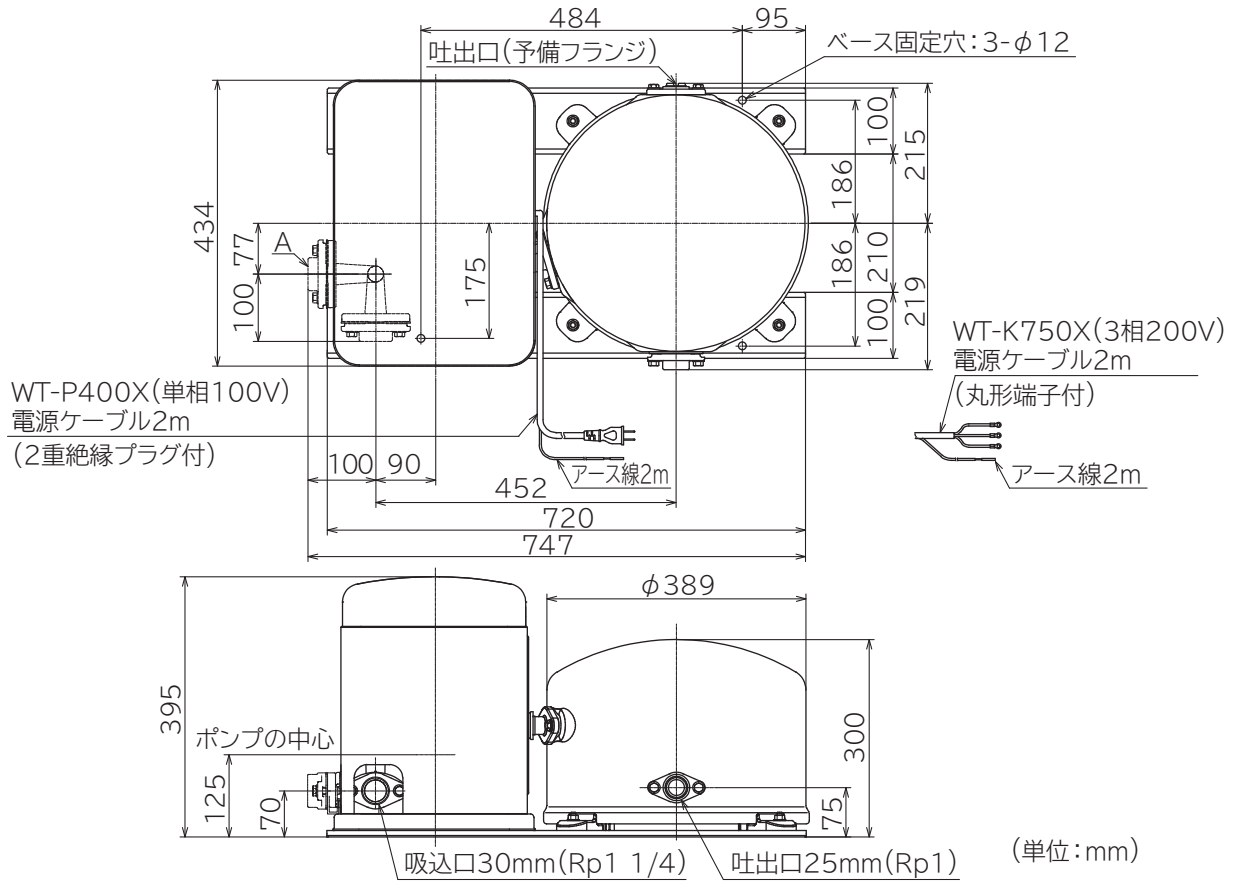
WT-P125X



WT-P200X、WT-P300X、WT-K200X



WT-P400X、WT-K750X



仕様 (続き)

WT-P125X・WT-P200X・WT-K200X

型式		WT-P125X		WT-P200X		WT-K200X		
相・定格電圧		単相100V		単相100V		3相200V		
モーター定格出力		125W		200W		200W		
定格消費電力		400W		440W		440W		
定格周波数		50-60Hz						
制御方式		インバーター制御						
		標準	高	標準	高	標準	高	
運転モード	標準	ON圧力	150kPa	190kPa	190kPa	270kPa	190kPa	270kPa
		OFF圧力	200kPa	240kPa	240kPa	320kPa	240kPa	320kPa
	圧力一定	200kPa	240kPa	240kPa	320kPa	240kPa	320kPa	
揚水量 (L/min) (全揚程 12m時)		22L/分(吸上高さ8m時) 28L/分(吸上高さ3m時)		28L/分(吸上高さ8m時) 35L/分(吸上高さ3m時)		28L/分(吸上高さ8m時) 35L/分(吸上高さ3m時)		
吸上高さ		8m	3m	8m	3m	8m	3m	
押上高さ	運転モード	標準	14m	18m	18m	26m	18m	26m
		圧力一定	17m	21m	21m	29m	21m	29m
フランジ口径		吸込管	20mm		25mm		25mm	
		吐出管	20mm		25mm		25mm	
質量		13kg		14kg		14kg		

WT-P300X・WT-P400X・WT-K750X

型式		WT-P300X		WT-P400X		WT-K750X		
相・定格電圧		単相100V		単相100V		3相200V		
モーター定格出力		300W		400W		750W		
定格消費電力		470W		860W		1150W		
定格周波数		50-60Hz						
制御方式		インバーター制御						
		標準	高	標準	高	標準	高	
運転圧力	標準	ON圧力	190kPa	270kPa	250kPa	320kPa	250kPa	320kPa
		OFF圧力	240kPa	320kPa	310kPa	380kPa	310kPa	380kPa
	圧力一定	240kPa	320kPa	310kPa	380kPa	310kPa	380kPa	
揚水量 (L/min) (全揚程 12m時)		33L/分(吸上高さ7m時) 39L/分(吸上高さ3m時)		42L/分(吸上高さ8m時)		64L/分(吸上高さ7m時)		
吸上高さ		7m	3m	8m	3m	7m	3m	
押上高さ	運転モード	標準	18m	26m	23m	30m	23m	30m
		圧力一定	21m	29m	26m	32m	26m	32m
フランジ口径		吸込管	25mm		30mm		30mm	
		吐出管	25mm		25mm		25mm	
質量		14kg		29kg		29kg		

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼される時、お役に立ちます。

ご購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111